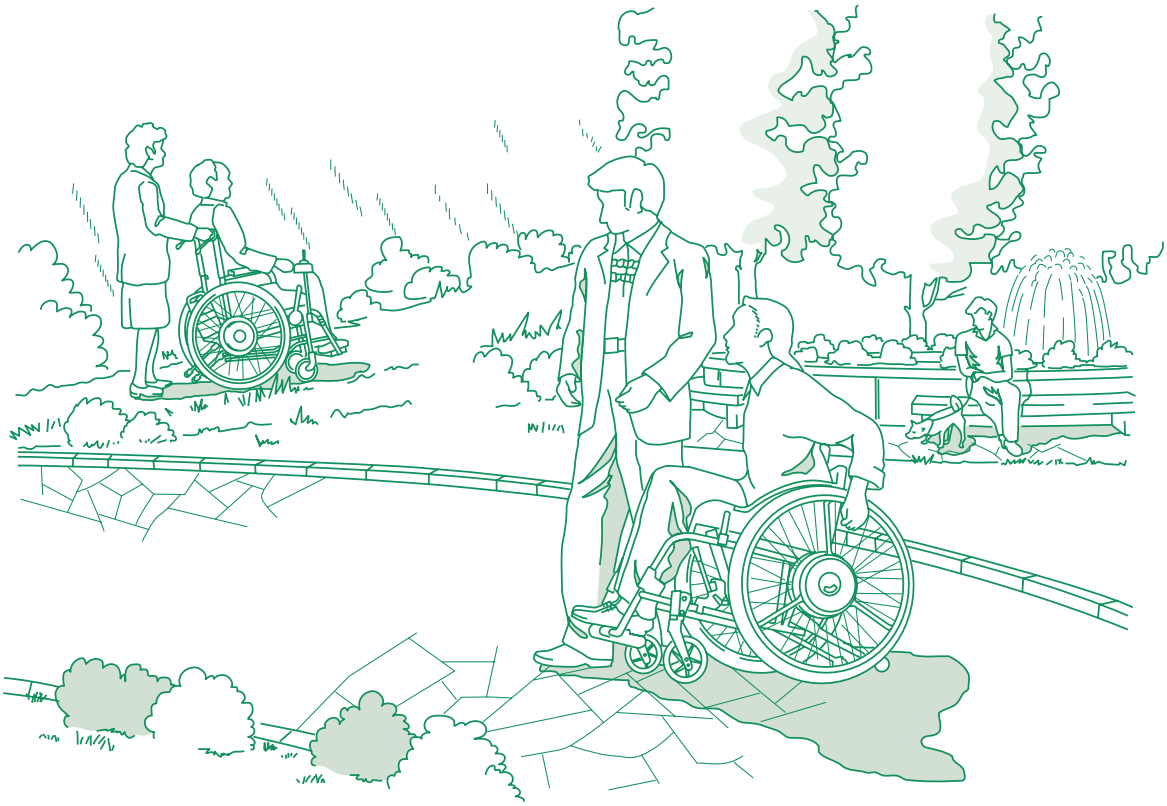
YAMAHA

安全運転の手引き



⚠ 安全に関する事項が掲載されています。

販売店様・レンタル店様へ

納品前にお読みいただき、必ずお客さまに安全指導を行ってください。

お客様へ

本書に従って販売店様・レンタル店様より安全指導を受けてください。

XA2-2819T-03

はじめに

本書はお客様および販売店様・レンタル店様が取扱説明書の内容をよく理解していただけるよう補助資料として作成したものです。
本書を活用し安全運転にこころがけてください。
また同封の取扱説明書も必ずお読みください。

本書の見方

本書では指示に従わなかった場合、使用者や他の人に傷害を負わせる可能性のある項目や本機やその他のものに損傷を与える可能性のある項目を以下の表示で記載しています。

	安全にかかわる注意情報を示しています。
警　告	取り扱いを誤った場合、死亡・重傷・障害に至る可能性が想定される場合を示します。
	してはいけないことを示しています。

販売店様・レンタル店様へ

- 実際に乗っていただくお客様や施設・卸し先など販売先には必ず本書に沿って安全指導・取扱説明を行ってください。

** 警　告**

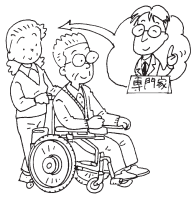
● 販売先には、必ず安全指導・取扱説明を行ってください。商品に対する理解不足や安全認識不足は、車イス使用者のけがや事故の遠因となる場合があります。

安全のために必ずお守りください。

1. ご自身の走行適性を理解し、無理をしないでください。

取扱説明書の走行診断チェックや基本操作の練習を活用し,
ご自身の走行適性を知ってください。

⚠ 警　告



● 介助者の同行・操作が常に必要な方がいます。介助者の必要・不必要の判断は専門家の意見を参考に行ってください。ご自身の意見のみで判断されますとご自身や周囲の人がけがをするおそれがあります。

● 本格的にご使用になる前に平坦で安全な場所で介助者同伴のもとで走行の練習をしてください。不慣れな状態で一般公道に出ますとご自身や周囲の人がけがをするおそれがあります。

2. 交通ルールやマナーをお守りください。

道路交通法上では、本製品は身体障害者用車イスであり歩行者として扱われます。

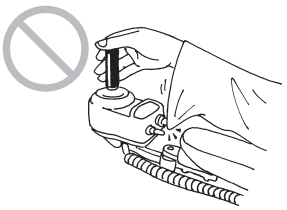
3. 車イスに適した服装で運転してください。

⚠ 警　告

● 下記事項のような車イスに適さない服装では走行しないでください。
適さない服装で運転しますとご自身や周囲の人がけがをするおそれがあります。

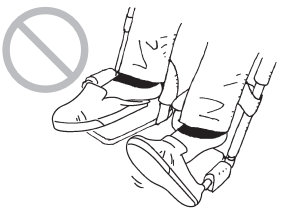
丈の長いマフラー

袖口の広い服



裾の広いズボン・スカート

フットサポートにしっかりのらない履き物

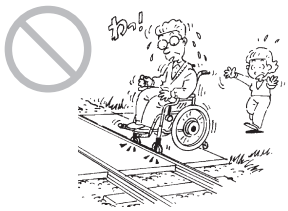


4. 環境や場所によっては介助者の同行や操作が必要な場合があります。

⚠ 警　告

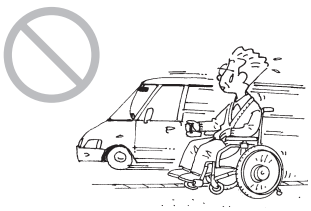
● 環境や場所によっては、介助者の同行や操作が必要な場合があります。下記事例においては、介助者が同行してください。単独運転では、けがをするおそれがあります。

踏切や路面電車の線路を渡るとき



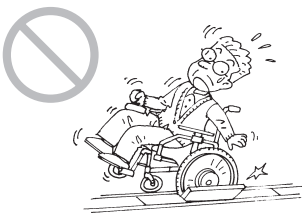
- 線路内にキャスターを落とす危険があります。

柵がない歩道



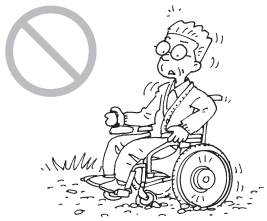
- 車道に転落するおそれがあります。

側溝や下水溝の格子状フタ



- キャスターを落とす危険があります。

砂利道や泥濘地



- タイヤが埋まり、身動きがとれなくなる危険があります。

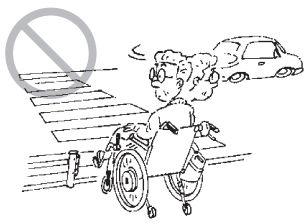
車体が左右に大きく傾斜する場所

- 横転する危険があります。

雪上・水溜りのある道路

- スリップしてコントロールができなかったり、ブレーキが効かないおそれがあります。

不慣れな道路の横断



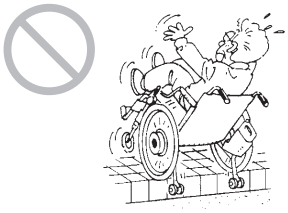
- 特に信号機のない横断歩道では、左右の交通に十分注意して渡ってください。
- また、信号機のある横断歩道でも、広い道路では横断中に信号が変わるおそれがあります。
  そうした場所では、次の青になるまで待って余裕を持って渡るようにしてください。
- 狭い車道の脇を走るのは大変危険です。できるだけ安全な道筋を選んでください。
- バッテリーが切れかかっている場合は、横断中にバッテリー切れになり動かなくなるおそれがあります。

⚠ 警　告

夜間走行

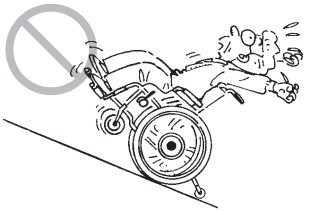
- 路面状態が確認できずに転落したり、第三者が認識できないために衝突する危険があります。

大きな段差を越えるとき



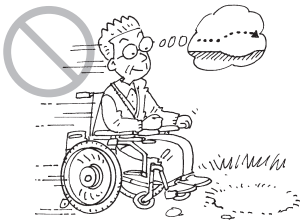
- 周りの状況を常にチェックし、安全確認を遂行してください。
- 必要がある場合は、必ず介助者が同行し安全確認を行ってください。

不慣れな坂道の登り降り



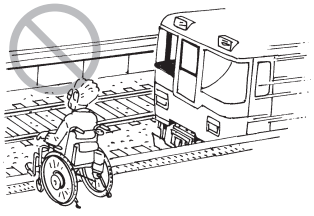
- 初めて上り下りする坂では、介助者が同行し安全確認を行ってください。

大きなくぼみを越えるとき



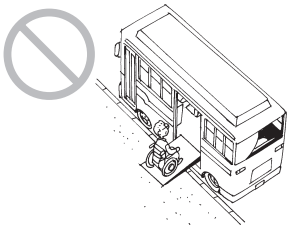
- 道路にくぼみがあったり歩道に車出入り用スロープが設けてある場合、できる限り回避してください。そのまま走行しますと横転するおそれがあります。やむを得ず走行しなくてはならない場合は、介助者が同行し安全確認を行ってください。

プラットフォーム



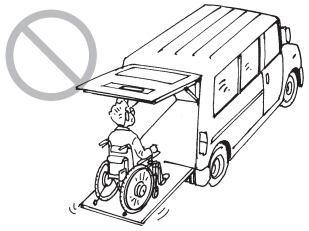
- 線路に転落する危険があります。

バス・電車の乗降



- 必ず介助者が同行し安全確認を行ってください。

リフト付車両への乗降

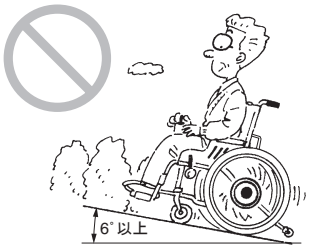


- 必ず介助者が同行し安全確認を行ってください。

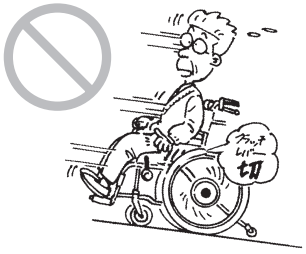
5. 坂道や悪路等走行環境に注意を払ってください。

⚠ 警　告

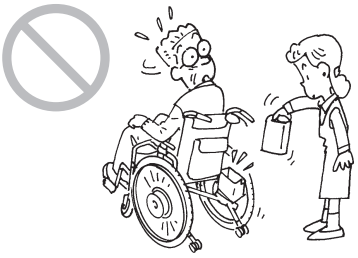
● 転倒防止バーを外したり格納したままであったり短く調整したままで走行すると転倒するおそれがあります。転倒防止バーを正しく設定していない状態で絶対に走行しないでください。



● 6°（勾配10%）以上の坂で車イスを使用しないでください。制動がきかなくなるおそれがあります。

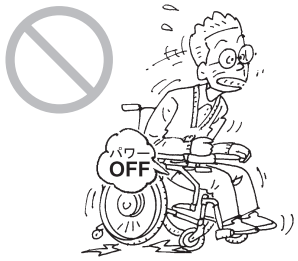


● 傾斜のある場所ではクラッチレバーを手動側に切替ないでください。不意に動き出す場合があり衝突・転倒のおそれがあります。
● 車イスが動いている時はクラッチレバーを操作しないでください。衝突・転倒のおそれがあります。
● 電動走行中にクラッチレバーを切替ると下り坂ではモーターによるブレーキの効果がなくなって暴走するおそれがあります。
● 手動走行中にクラッチレバーを切替るとその際のショックで体が前方に投げ出されたり機器を破損させるおそれがあります。



● 走行中にバッテリーを抜くと急制動を起こし、ご自身や周囲の人がけがをするおそれがあります。

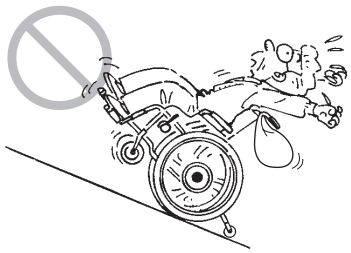
⚠ 警　告



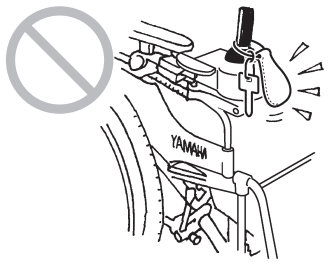
● 走行中に電源スイッチを切ると急制動を起こし、ご自身や周囲の人がけがをするおそれがあります。

● 凍結したところを運転しないでください。制動がきかなくなるおそれがあります。

● 下り坂で急に曲がらないでください。また急な坂道での横断や斜め走行は、バランスをくずし易く転倒するおそれがあります。

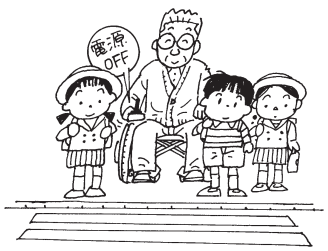


● 背もたれに重たい荷物をかけたり小物入れに重たいものを入れて坂道を運転しないでください。
坂道でキャスターが浮き、操作の妨げになり、ご自身や周囲の人がけがをするおそれがあります。



● 自走用操作部の操作レバーに物をかけないでください。操作の妨げになるばかりか、操作レバーから手を離しても意図せぬ動きをする場合があります。

⚠ 警　告



● 混雑した場所での走行では細心の注意を払ってください。人の手や物がスポークなどに接触する可能性があり、不意の停止によるショックで体が前方に投げ出されたり周囲の人がけがをするおそれがあります。
● 混雑した場所で停止する場合は停止後必ず電源を切ってください。人の手や腕が操作レバーに接触すると不意に発進し、周囲の人がけがをするおそれがあります。

● 二人乗りやけん引をしないでください。車イスの故障およびけがをするおそれがあります。

● バス・タクシー・電車などから降りた後は必ず転倒防止バーが出ているかを確認した後に、走行を始めてください。

● 携帯電話などを使用する場合は、安全な場所に停止して車イスの電源を切ってください。また電動走行中は携帯電話などの電源を切ってください。事故の原因となるおそれがあります。

販売店様・レンタル様用安全指導の手引き

安全指導のすすめかた

1. 本書の指導チェックシートに従い、取扱説明書を併用して安全指導と商品説明を実施してください。

   - 取扱説明書の警告項目の説明や商品説明を確実に実施してください。
   - 困ったときや疑問に思ったときは、取扱説明書を読むことを確実に伝えてください。

2. 実際に車イスに乗る方以外にも介助者や管理される方、さらに必要に応じて車イスに乗る方の身近な人など、複数の人に説明を実施してください。

3. お客様にお渡しする車イスを使用して安全指導を行いましょう。

指導チェックシート

チェックシートに従って指導し、各項目完了後、確認欄にレ点を記入してください。

⚠ 警　告

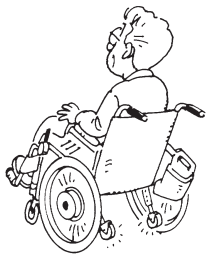
● **単独運転の練習等、お客様の運転練習には必ず指導者が同行してください。運転に不慣れな状態で運転されますとけがや事故をおこす場合があります。**

	チェック項目	確認	参照
1	**操作能力の判定と介助の必要有無** 介助者運転の必要性や常時介助者の同行が必要かを判断します。		取扱説明書
2	**各部の取扱方法** 電源入れて始動するまでの順序		取扱説明書
	・バッテリーの抜き差しの仕方		
	・バッテリー残量の確認方法		
	・スイッチやクラッチの使い方		
	・速度調整の方法		
3	**安全運転の指導** 3－1. 警告項目の説明		取扱説明書 および 本書 “安全のために必ずお守りください”
	3－2－1. 自走用操作部による操作方法 （タウニィパス JW－Ⅱを除く）		取扱説明書
	3－2－2. 介助用操作部による操作方法 （JW－Ⅱを除く）		
	3－2－3. ハンドリムによる操作方法 （JW－Ⅱ）		
	3－2－4. 車輪着脱時の注意（JW－Ⅱ）		
	3－3. 単独運転の練習 単独運転練習メニューの実施		取扱説明書
	転倒防止バーの正しい使いかた ・転倒防止バー調整の実施		本書 “安全指導のポイント”
	悪い環境での正しい走行方法		
	クラッチレバーの正しい使いかた		
4	**バッテリーの取扱方法**		取扱説明書 バッテリーについて
5	**運搬時の注意**		取扱説明書
6	**保管時の注意**		
7	**保証登録手続き** 保証登録書への販売証明印と返却のすすめ お客様から保証登録書を返却いただいた場合 保証書に則って製品保証をします。（購入後1年間）		

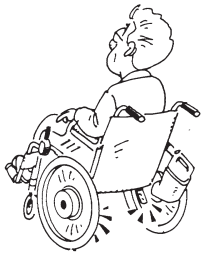
安全指導のポイント

転倒防止バーの正しい使いかたについてご指導ください。

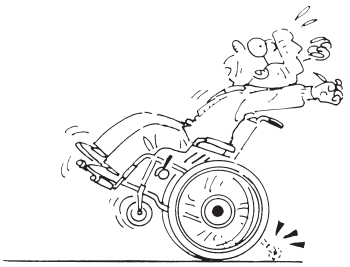
誤った使いかた



・ 転倒防止バーが短い状態で使用しています。

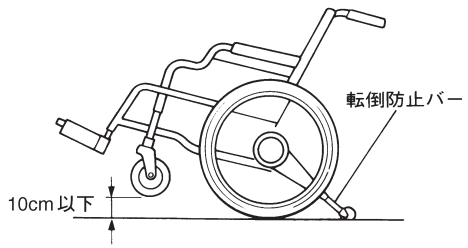


・ 転倒防止バーが無い状態で使用しています。



・ 重心を後ろにかけすぎてバランスを崩すと転倒します。

転倒防止バーの調整



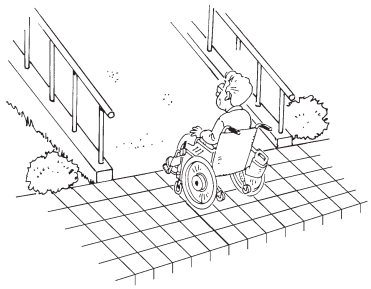
指導方法

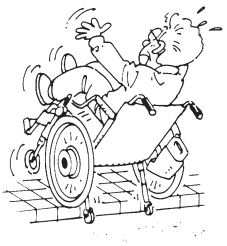
・ 走行前に必ず転倒防止バーを出してください。
・ 段差乗り越え時に転倒防止バーを格納した場合でも段差乗り越え後すぐに転倒防止バーを出してください。

・ 転倒防止バーの正しい長さは、車輪が接地した状態でキャスターと地面の間が10cm以下のスキ間ができる所でセットしてください。

下記のような環境下での正しい走行方法をご指導ください。

悪い環境での走行

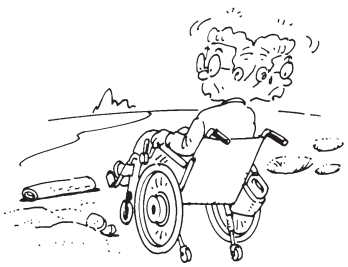




・ 段差のあるところで使用しています。

・ 不整地で使用しています。

・ 転倒防止バーが機能できずに、転倒の危険があります。



指導方法

・ 周りの状況を常にチェックし、転倒防止バーが機能する条件で使用してください。

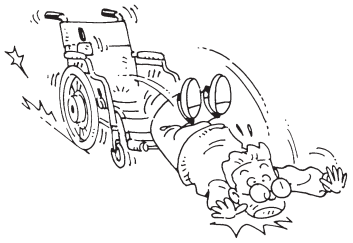
・ 必要がある場合は必ず介助者が同行し、周りの状況を確認してください。

⚠ 警 告

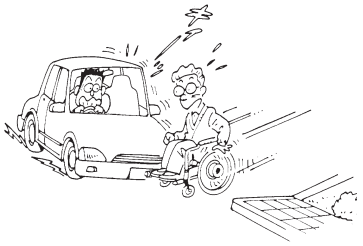
● **単独運転の練習等、お客様の運転練習には必ず指導者が同行してください。運転に不慣れな状態で運転されますとけがや事故をおこす場合があります。**

クラッチレバーの正しい使いかたについてご指導ください。

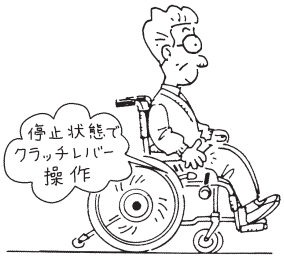
誤った使いかた



- 傾斜のある場所で手動走行中に、クラッチレバーを“電動”にしようとしています。
- 急ブレーキ状態になり体が前に放り出される危険があります。



- 傾斜のある場所で電動走行中に、クラッチレバーを“手動”にしようとしています。
- 暴走し、転倒や転落の危険があります。
- 障害物に追突したり、道路に飛び出す危険があります。



指導方法

- 走行中には絶対にクラッチレバーを切替えないようにしてください。
- クラッチレバーが電動側に入ってない場合は、電磁ブレーキはききません。
- クラッチレバーの切替えは
  1. **平坦な場所で**
  2. **停止後に**
  3. **駐車ブレーキを入れた後で**

  行ってください。

⚠ 警　告

● **単独運転の練習等、お客様の運転練習には必ず指導者が同行してください。運転に不慣れな状態で運転されますとけがや事故をおこす場合があります。**

ヤマハ発動機株式会社 IM事業部
〒435-0054　浜松市中区早出町882番地
TEL: 053-460-6167

安全運転の手引き
2009年9月発行
不許複製
編集発行 ヤマハ発動機株式会社

再生紙を使用しています。

XA2-2819T-03

200909-1.5×1 CR